

池袋保健所の本移転に係るパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集の概要

- (1) 実施期間 令和4年4月11日(月)～5月10日(火)
- (2) 周知方法 広報としま4月11日号掲載、区ホームページ掲載
- (3) 閲覧場所 行政情報コーナー、図書館、区民事務所、池袋保健所、長崎健康相談所
- (4) 受付方法 郵送1件、メール6件、ファクス1件
- (5) 意見件数 15件 ※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、受付件数とは一致しません。

2 ご意見等の概要と区の考え方

【移転について】

No.	ご意見等の概要	区の考え方
1	区民の育児、健康や病気に関することを一つの場所に集約できることは良い環境だと思います。	池袋保健所の本移転においては、健康危機管理や母子保健・子育て支援といった「保健所専門機能の強化」、女性の健康支援や区民の健康づくり・生活習慣病対策等「健康づくり支援の拡充」、「本庁舎と連携した健康相談・子育て支援、サービスの向上」等を図ります。
2	複数階の構造になりますがレイアウトは良いと思います。 区民に貢献できる施設になると感じます。	今後も利用者のご意見等を参考にしながら、区民の皆さんの命と健康を守る「健康センター」としての役割を併せ持つ、公衆衛生の拠点を目指してまいります。

No.	ご意見等の概要	区の考え方
3	<p>すでに仮移転で説明された時、5年で約18億円と言われた。又その後キッズパークの費用は計上されておらず、新聞報道で約1.6億円かかり、人件費を含めると2億円程だと考えられる。又5年がスケジュールでは7年になるのでその経費も加算される。(どれほどになるかわからない?)</p> <p>すでに5年でキッズパークを含め20億円支出し借地更新加算+保留床、内装設計、工事費用約64.8億円+移転費用を含めると最終的に概算で90億近くが支出されることになる。</p> <p>このような移転方法ではなく区が自分の土地を取得して運用すべきである。タワーマンションの一角に入って動線及び利便性で選ぶのは反対である。</p>	<p>池袋保健所の移転にあたっては、平成26年度より移転先の土地等の購入も含めて検討しましたが、適地がありませんでした。そのうえで検討に検討を重ねて造幣局跡地への仮移転、南池袋二丁目C地区への本移転を決定しました。</p> <p>旧保健所は、すでに大規模改修の時期を迎え、仮移転費用、空調設備の更新など修繕の総額は約24億円が見込まれました。また、諸室が狭く使い勝手が悪い、駐輪場、駐車場が慢性的に不足するなど、安心して必要な機能を発揮するには支障がありました。</p> <p>そこで二段階移転を決定し、旧保健所を36億円で売却、現在の仮保健所の土地はURから無償の利用、建物は一括支払いで譲渡を受けることにより費用を抑えております。</p> <p>さらに今般の新型コロナ感染症対策においては、現在の仮保健所で十分なスペースを確保でき円滑かつ迅速な対応をすることができました。</p> <p>本移転により庁舎と近接かつ駅直結となることで利便性は格段に高まり、さらに健康センター機能が加わり、区民の命と健康を守る拠点として充実、強化を図ることができます。移転費用などについては、今後しっかり精査いたします。</p> <p>新しい池袋保健所が区民の皆様に「移転してよかった」と評価していただけよう、取り組んでまいります。</p>

【保健所機能拡充方針について】

No.	ご意見等の概要	区の考え方
4	区役所と保健所が近くになることで、関連する手続きが一度で済むことになるので効率化がはかかれて良いと思います。	本庁舎に近接するため双方の手続きをスムーズにご案内できるようになり、移動時間短縮、効率化といった利便性が高まります。
5	保健所が本庁舎に併設されることは、豊島区行政と医療・保健行政がより機能的になるという点で望ましいことと思います。行政関係者のみならず、医療関連団体なども本庁舎と一体化することで連携しやすくなると思います。また、行政の部署間でも保健所との縦割り感を解消することができると思います。ただし、隣接されただけではなく、行政内部の連携もグローバルに情報共有するシステムを構築し、ソフト面で縦割りを解消していく事が重要かと思えます。	また、本庁舎に近くなることを活かし、これまで以上に子育て関連部署など他部署との連携を強化し、きめ細やかな健康相談、子育て支援サービスを提供できるように努めてまいります。
6	専門職による健康相談、血圧や血管年齢、体脂肪などの測定等は、年に1度の「健康展」において実施している内容とほぼ同じように感じます。いつでもすきな時に自分の健康に関心を持ち、気を付ける機会を得ることができ、区民の方々にとって良いことだと思えます。	健康センター機能については、女性の健康支援、生活習慣病・がん対策など区民の皆様の健康づくり支援の拡充の拠点となることを目指しています。具体的には①女性のライフステージに応じた健康相談、健康診査の結果や体調管理などを気軽に相談できる窓口の開設②血圧、血管年齢測定など健康チェックコーナーの設置③健康に関する情報発信コーナーを設置することなどを検討しています。 これらにより早めに必要な検査や治療へつなぐことができる体制を整え、区民の皆様の健康づくりを支援していきます。

No.	ご意見等の概要	区の考え方
7	<p>新型コロナウイルスの流行によって、保健所の基本的な機能である健康危機管理の重要性を再認識しました。流行前の直前2019年10月に、繁華街の真ん中から公園の横という十分な面積に移動できたことは幸いでした。</p> <p>今回の経験をもとに、今後とも非常時の危機管理の拠点としての十分な面積と人員が確保できるようにしてほしいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大時には、健康危機管理における保健所の役割について再認識したところですが、本移転後の保健所におきましても感染症発生時における疫学調査・ワクチン接種など感染症対策の拠点として、健康危機管理体制を強化します。</p> <p>同時に、大規模地震など災害発生時の医療救護活動・避難生活者の健康支援活動の拠点としても、整備を進めてまいります。</p>
8	<p>災害時緊急対策本部が区庁舎内に発足した場合に、災害時医療の拠点は保健所となる事から部署によって分断されていたものが隣接されることで、情報の伝達がスムーズになると思います。災害時は通信機器の不具合なども生じかねず、いざと言った場合には人海戦術に頼らざるを得ないこともあるので、その点今までよりも本部と医療拠点本部の連携がスムーズになると思います。もちろん、この点もハード面のメリットのみに頼らず、災害関連の部署の縦割りを平時から解消しておく必要があるため、ソフトの面でも有効に活用できるシステムを構築しておく必要があると思います。</p>	<p>保健所では発災時に適切な初動対応が迅速に行われるよう、保健所職員に対して健康危機管理体制に関する研修を実施しています。また、区内病院や地域医療団体とも連携・協議し、初動対応に重点を置いた訓練を実施しています。</p> <p>今後の災害医療体制においては、新型コロナウイルス等感染症の流行対応を考慮することが求められています。そのためには区内病院や地域医療団体などとの協力・連携は欠かせません。非常緊急時においても区民の皆様の命と健康を守るため、健康危機管理体制の構築を進めてまいります。</p>
9	<p>本庁舎と隣接することで、今回の保健所業務が逼迫したような場合でも機能的に業務分散を図ることがしやすくなると思います。こういった前例のない有事の際には、行政力だけでは対応しきれない場合など、平時から積極的に民間の関連団体や業種・企業・警察や消防等などと垣根を取り払った業務提携が必要かと思います。行政は予算ありきではなく税金を使わなくても効率よく臨機応変に対応できる施策を整えておくことが重要かと思います。</p>	<p>今後の災害医療体制においては、新型コロナウイルス等感染症の流行対応を考慮することが求められています。そのためには区内病院や地域医療団体などとの協力・連携は欠かせません。非常緊急時においても区民の皆様の命と健康を守るため、健康危機管理体制の構築を進めてまいります。</p>

No.	ご意見等の概要	区の考え方
10	<p>在宅医療相談窓口は土日祝日の対応がないため、保健所内に土日祝日の医療介護相談窓口の開設を希望します。</p> <p>小児から高齢者まで幅広く対応し、土日祝日に開設し、平日働いている方も利用しやすい相談窓口が、今後必要になると考えます。休日診療所やあうる薬局、あぜりあ歯科診療所とも連携し、365日区民を支える体制が必要と考えます。</p>	<p>土日祝日の在宅医療相談窓口を開設するにあたっては、運用方法や人的資源など、様々な課題があると認識しております。</p> <p>相談を必要としている方が利用しやすい窓口のあり方について、区内病院、地域医療団体と連携し、引き続き検討してまいります。</p>
11	<p>ここ数年の新型コロナ感染対策については本当に感謝の念が絶えません。職員の方々は忙殺の日々を送ったことと存じます。そもそも保健所の機能として、感染症予防に止まらず、精神保健福祉、障害者福祉、母子保健、老人保健、健康増進などの広域な分野に加え、更には地域包括ケアや医療連携の中心的存在として非常に多岐に渡るとともに、各分野での専門性を高く求められていると思われまます。今回の移転に伴い、利便性の向上は期待できるのですが、更に今後は人的資源のさらなる拡充が必要と考えます。</p>	<p>新型コロナ感染症拡大を受けて、感染の波に応じて庁内各部署に支援を要請し、全庁一丸となって保健所業務を支えてまいりました。また、人材派遣も活用しつつ、保健所業務の負担を軽減できるよう、体制を整えてまいりました。</p> <p>一方、保健所の業務は複雑化し多岐にわたっており、各分野で専門性の高い人的資源が求められています。今後も引き続き、職員の人材育成において効果的な研修のあり方や専門性を高める工夫をし、区民の皆様の健康に寄与できるよう保健所全体の人的資源の充実を図ってまいります。</p>
12	<p>このコロナ騒動で保健所職員が少ないことが全国でも判明しているが職員の増員にはふれられていない。動線及び利便性より保健所の人員の充実が必要で職員が安心して活動する場所が必要である。</p>	

No.	ご意見等の概要	区の考え方
13	区役所本庁舎4階にある補助犬トイレは、4階ということで、使いにくいという声も上がっています。新しくできる保健所の1階部分にも設置していただきたいと思えます。	現時点では、本庁舎における補助犬トイレの利用実態などから整備を予定しておりません。しかしながら、合理的配慮は必要であることから、施設利用者が補助犬トイレの利用を希望した場合、ペットシートなどで、暫定的なトイレが設置できないか、開発事業者と調整を進めております。今後も、様々な施設利用者を想定し、安心してご来所いただけるよう、補助犬トイレにつきましても引き続き検討してまいります。

【アクセスについて】

No.	ご意見等の概要	区の考え方
14	東池袋駅に直結することでアクセスも良好となり、利用者にとっても活用しやすくなるでしょう。荒天時も地下通路を介することで通所に支障がなくなると思えます。	地下通路で駅と直結、区役所本庁舎にも近接してつながり、利便性が格段に高まります。
15	池袋から一駅乗らないと行けないのは難点ですが、駅直結なのは素晴らしい。 池袋からの交通手段として、シェアサイクルを検討してはいかがでしょうか？豊島区のシェアサイクル、少ないと思えます。	シェアサイクルにつきましては、現在、豊島区では民間シェアサイクル事業者が区内で20を超えるポート、約120台にてサービスを展開しています。区が実施主体として、シェアサイクルを導入する場合、ポート設置場所の確保が困難であるとともに、事業者によっては初期費用やランニングコストが高額になるため、現時点では導入の計画はなく、民間事業者により展開しているシェアサイクル事業の動向を見極めることとしています。豊島区は民間活力を活用し財政負担が少なく、放置自転車対策が完備されているシステムの普及を目指しています。